

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：体育振興費

事業名 県高等学校体育大会補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校体育係 電話番号：058-272-1111(内8721)

E-mail：c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額： 2,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額	4,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

毎年開催される下記大会の円滑な運営を図るため、大会に要する経費の一部を補助する。

(2) 事業内容

- ①県高等学校総合体育大会
- ②県高等学校新人大会
- ③県高等学校定時制通信制総合体育大会
- ④県高等学校定時制通信制秋季体育大会

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県負担：定額補助金
- ・ 県立高等学校の総合体育大会運営等への補助であるため、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,000	高等学校体育大会開催事業補助金
合計	5,000	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 岐阜県清流の国スポーツ推進条例11条
- ・ 第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画
- ・ 第4次岐阜県教育振興基本計画
 施策IV 「学びの多様なニーズに応える環境」の充実
 2 4 文化芸術やスポーツなどの才能や個性を伸ばす機会の充実

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	高等学校体育大会開催事業補助金
補助事業者(団体)	岐阜県高等学校体育連盟 (理由) 高校総体等の事業主体であるため。
補助事業の概要	(目的) 県内すべての高校代表選手が参加する(東海・全国大会の予選を兼ねる大会)本大会の開催に係る経費を補助しスポーツの振興と競技力向上を図る。 (内容) 全日制(33競技)と定時・通信制(10競技)の県大会開催を支援する。
補助率・補助単価等	定額 (内容) 5,000千円 (理由) 大会開催経費の一部補助であり、設置者としても補助が必要。H22からR7まで2,000千円補助。
補助効果	県内最高レベルの本大会に参加することは高校部活動の大きな目標になっており、学校教育の一環としてスポーツを通じた人間形成に貢献している。
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 終期の定めがないため、事業を点検する。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>子どもたちの憧れであり目標である岐阜県高等学校総合体育大会の経費を補助することで、大会の円滑な運営ができる体制を整えるとともに、心身の健全な育成に資する運動部活動の活性化を図る。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前(R)	R6年度実績	R7年度目標	R8年度目標	終期目標(R10)	達成率
① 県高等学校体育大会参加人数		19,313	20,300人	20,300人	20,300人	95.1%

補助金交付実績 (単位:千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	高等学校総合体育大会に10,325名、高等学校新人大会に8,697名、高等学校定時制通信制総合体育大会に399名、高等学校定時制通信制秋季体育大会に375名の選手が参加した。
令和5年度	高等学校総合体育大会に10,918名、高等学校新人大会に8,686名、高等学校定時制通信制総合体育大会に328名、高等学校定時制通信制秋季体育大会に293名の選手が参加した。
令和6年度	高等学校総合体育大会に10,429名、高等学校新人大会に8,222名、高等学校定時制通信制総合体育大会に363名、高等学校定時制通信制秋季体育大会に299名の選手が参加した。
指標① 目標：20,300人 実績：19,313人 達成率：95.1%	

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	全国大会の予選として、高校生が最大の目標として位置付けをしている。大会の開催は競技力の向上に大きく関わる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 2	高校生スポーツ活動の発展および競技力や体力の向上はもちろん、スポーツを通じた豊かな人間形成に貢献している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	県高等学校体育連盟の財源の多くを占める加盟校の分担金は生徒数の減少に伴い年々減少しているが、大会を維持するために事務的経費の節減等により経費の削減を図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後、生徒数の減少に伴い、大会規模の動向や開催経費への補助のあり方。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 事業の評価を勘案し、事業継続が必要。
--